

ワールドキャンパスインターナショナル  
2017年度プログラム

報告書



<目 次>

1. プログラムの概要

プログラムの全体概要 .....	2
第1セッション.....	5
第2セッション.....	9
第3セッション.....	12

2. 今回の成果と今後の課題

(1) 成果・(2) 課題.....	16
--------------------	----

参考資料

- 参加者リスト
- 各地LOC協力組織（代表）リスト
- スタッフリスト
- 協力企業・団体等

## 1. プログラムの概要

### <プログラムの全体概要>

#### ① スケジュール

長崎県大村市／熊本県熊本市／熊本県荒尾市・福岡県大牟田市、大阪府吹田市／奈良県宇陀市／神奈川県伊勢原市、茨城県水戸市／千葉県我孫子市／東京都多摩市の計9都市、3セッションでのプログラムを実施した。

今年度も一昨年より実施している1セッションにつき3週間のプログラムを引き続き採用し、関東地区の受け入れ先として数年ぶりに茨城県水戸市が加わった。

プログラム実施時期については、より多くの参加者のニーズに応えるため昨年よりも遅いスタートとし、各セッション第1都市への滞在日数を1日、セッション間のブレイクを1日短縮し、プログラム全体の期間を調整するように努めた。

#### 【2017年ワールドキャンパスジャパンプログラム】

セッション	日程	都市名	主な活動
第1セッション	6月14日～6月21日	長崎県大村市	小学校活動、武道体験、平和学習
	6月21日～6月26日	熊本県熊本市	高校活動、慈恵病院訪問、大学活動
	6月26日～7月3日	熊本県荒尾市 福岡県大牟田市	刀鍛冶・居合い体験、小学校活動
第2セッション	7月4日～7月11日	大阪府吹田市	大学活動、企業訪問、商店街活性活動
	7月11日～7月17日	奈良県宇陀市	座禅体験、高齢者施設訪問、室生寺見学
	7月17日～7月23日	神奈川県伊勢原市	商店街サマーフェスタ、大山体験、小学校・大学活動
第3セッション	7月24日～7月31日	茨城県水戸市	高校活動、企業訪問
	7月31日～8月6日	千葉県我孫子市	大学活動、日本文化体験
	8月6日～8月12日	東京都多摩市	異世代交流、小・中・大学活動、文化発表会

## 《第1セッション》

### <スケジュール>

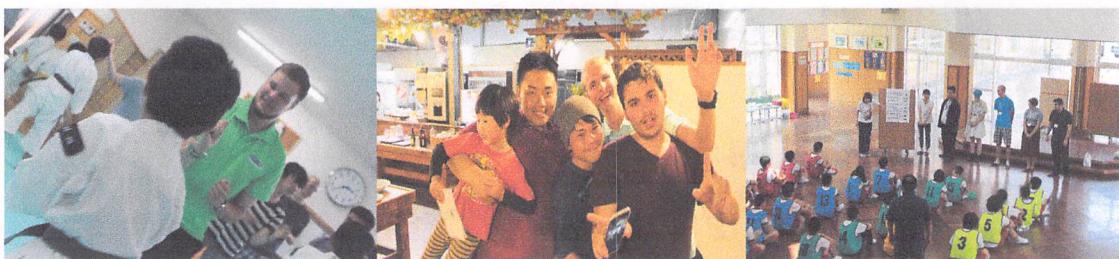
日付	概要
6月14日(水)	長崎空港→大村市集合
15日(木)	オリエンテーション
16日(金)	平和学習（語り部、長崎原爆資料館）
17日(土)	少林寺拳法体験
18日(日)	ホストファミリーデー
19日(月)	虹の原特別支援学校訪問、弓道体験
20日(火)	松原小学校訪問、ありがとうイベント
21日(水)	移動→熊本市、第一高校訪問、対面式
22日(木)	慈恵病院訪問（こうのとりのゆりかご見学）
23日(金)	熊本県立大学訪問
24日(土)	ありがとうイベント
25日(日)	ホストファミリーデー
26日(月)	フリータイム（熊本市）、移動→荒尾市／大牟田市
27日(火)	竹細工体験
28日(水)	中央小学校訪問
29日(木)	刀鍛冶体験、奥之院訪問、市長表敬
30日(金)	日本料理体験、ありがとうイベント
7月1日(土)	商店街スタンプラリー
2日(日)	ホストファミリーデー
3日(月)	解散

### ● 長崎県大村市

弓道体験や少林寺拳法体験など、大村市の特色ある活動として定番となっている武道体験は今年も参加者から大変好評であった。各道場の先生や子どもたち、また虹の原特別支援学校の生徒たちにも、今年もワールドキャンパスの訪問を楽しみにしていただいていたようである。継続して受け入れをしてくださることで受け入れ側の体制も整い、活動

内容もより磨きがかかるものへと変化を遂げていることが実感できる。

松原小学校への訪問は今年が初めてであったが、日本の教育について知ることは参加者にとって貴重な機会となった。ただクラスによっては参加者の授業への関わり方について認識の違いがあり、あまり交流ができなかつたという参加者もいたようである。特に初めての訪問先についてはワールドキャンパス、受け入れ先共により満足度の高い交流を目指し、実行委員会との連携を強化していきたい。



#### <参加者の感想>

- 弓道体験では道着を着せてもらえてテンションが上がった。すべて実際の道具を使わせてもらうことができたので、本物の弓道を味わうことができたと思う。弓が当たった時のプレゼントもサプライズで嬉しかった。
- 大村のありがとうイベントは特別だとは思うが、自分たちの出し物の前にバンド演奏があると会場も盛り上がるし、自分たちもありがとうイベントをやりやすかった。
- 昨年も自分を受け入れてくれたホストファミリーだったので、今年もまた自分を温かく迎えてくれて一緒に楽しい時間を過ごすことができた。いつか自分の国にも来てくれたらいいなと思う。
- 松原小学校を訪問した時は、教室の後ろに座って見学するだけで、もっと積極的に交流したかったので少し残念だった。
- 自分は一人暮らしが長いので、ホームステイを通じて家族がどんなものであるかを感じることができてとても素晴らしいかった。またそう感じることができるくらいホストファミリーとの距離を縮めることができた。

#### ● 熊本県熊本市

他都市に比べて短い滞在期間ではあるが、恒例の活動として定着している慈恵病院での「こうのとりのゆりかご」見学や、熊本県立大学訪問など充実した活動を行うことができた。今年は新たに第一高校への訪問も実現し、数時間という限られた時間ではあったが、実りある交流の時間となつた。同世代の学生たちとの交流は双方にとって良い刺

激になるようで、今年で5回目の訪問となる熊本県立大学では、学生や職員にもワールドキャンパスの活動が広く知れ渡るようになり、大学の国際化にも大きく貢献していると実感している。今後は第一高校との関係の発展にも期待したい。

また「Granpa's Japanology」と題し、実行委員会の一員でもある坂本純様より日本文化についての講演をいただいた。日本の自然や文化の不思議についてのお話は参加者にとっても興味深かったようで、熱心に話を聞いている姿勢が伺えた。



#### <参加者の感想>

- ・ 高校生や大学生と英語で交流ができるとても楽しかった。自分の国について自分が持っている知識をみんなに教えることができたし、互いに学び合うことができたと思う。
- ・ 慈恵病院の「こうのとりのゆりかご」のコンセプトはとても良くできていると思う。施設について学ぶことで日本のこうした現状についても知ることができたし、自分の目で施設を見てることができてよかったです。
- ・ 初めてホストファミリーをする家庭だったので、彼らも最初はとても緊張しているようだった。でも自分のために一生懸命尽くしてくれたし、もしこれからもホストファミリーを続けてくれたら、きっとどの参加者にとっても素晴らしいホストファミリーになれると信じている！
- ・ ホストファミリーがとてもシャイな家族だったので、みんなと打ち解けるのに少し時間がかかったけれど、ホストマザーは自分に心を開いてくれて、日本のこと、自分の国のこと、それから自分たち自身のことについての深い話もできて楽しかった。とても素敵なお母さんで、彼女と一緒に過ごすことができてよかったです。

#### ● 熊本県荒尾市・福岡県大牟田市

刀鍛冶や料理体験、竹細工体験など、荒尾・大牟田地域で定番となった活動も多く、どの活動も参加者から大変好評であった。ただ竹細工づくりにおいては比較的参加者の自主性に任せさせていただいているところもあるが、もっとしっかりしたレクチャーや、知識ある人からの丁寧な指導が欲しいという意見もあった。また、大蛇山の見学や奥之院

での座禅体験など、地域の特性を活かした活動も多く組み込まれ、とても充実した滞在となつたが、スケジュールがタイトであったという参加者も少なくからずいたようで、今後はスケジュールの組み方や参加者の体力への配慮も必要である。

中央小学校訪問では、例年高学年の生徒のみを対象としていた体育館でのイベントを全校生徒へ向けて行った。参加者たちも自分たちのパフォーマンスを大喜びで観覧してくれた子どもたちから良い刺激を受け、終始和やかなムードで交流を図ることができた。

また今年は初の試みとして商店街でのスタンプラリーイベントを開催した。実行委員会からの希望で活動における今後の改善点などを話し合う時間を設けたが、参加者からは「多少の準備不足を感じた」というような厳しい指摘もある中、今後に活かせるとても前向きな意見が多かった。次回はよりパワーアップしたイベントとなるよう期待したい。



#### <参加者の感想>

- ・ 竹細工の日、中央小学校訪問、刀鍛冶の日などどれもとても楽しかった。竹細工や刀鍛冶では、とてもユニークな体験をすることができたし、小学校では子どもたちが自分の訪問をとても喜んでくれていたことが嬉しかった。
- ・ 中央小学校の訪問では、自分たちのイベントにすごく良い反応をしてくれて、一緒にやっていて楽しかったし、子どもたちも自分たちからコミュニケーションを取りに行っていて外国人と関わりたいという姿勢が見られた。また先生たちの指導がしっかりしていて、授業にも積極的に関わることができたし、一緒にやりましょうという気持ちがすごく伝わってきた。
- ・ プログラム中はほぼ毎日アクティビティがあって、たくさんの方の協力のおかげで実施できていると実感したが、1日にいくつかの活動が詰まっていると、それぞれの活動に對してあまり真剣に向き合えなかった。特に長い時間活動した後に短い活動がある時など、すでに疲れてしまっていることが多かった。
- ・ ホストファミリーが自分のためにスウェーデン語を少し覚えていてくれた！
- ・ ホストファミリーがみんな本当に親切してくれてとても過ごしやすかった。ただ活動場所までが少し遠く、小さな子どももいたので集合時間に遅れてしまうことが他のスタッフに申し訳なかった。

- ・お茶が好きなので茶道体験はとてもよかったですし、クラブ活動を見学するなど大学生との交流も楽しかった。
- ・なぎなたがどんなものであるかということを知らなかつたので新しい経験になった。
- ・房総のむらでの風鈴絵付け体験は楽しかったけど、もっと他に外国人向けの良い活動があったのではないか。
- ・過去にも自分と同じ国出身の参加者をホストしたことがあったみたいで、とても会話がはずんだ。ホストファミリーは英語が話せなかつたし、自分の日本語もそんなに上手ではなかつたけど、彼らはとてもコミュニケーション力に長けていた。
- ・子どもたちが学校で忙しかつたのであまり一緒に過ごせずとも残念だったが、とてもいい子たちだつた。家族みんなと話をするのがとても好きだつた。

### ● 東京都多摩

恵泉女学園大学、南鶴牧小学校、鶴牧中学校と3つの学校を訪問させていただき、また日々の活動にも多摩市の学生たちがサポートスタッフとして参加してくれるなど非常に多くの学生との交流を持てる訪問となつた。また異世代の方々との交流も盛んで、多摩市国際交流センターの方々との交流や「世界とあくしゅ多摩ひろば」といったイベントを通じて、地域の方々に参加者それぞれの個性や国の文化を知つていただく良い機会となつた。しかし、より多くの交流の機会を設けることで参加者による文化発表にも様々な工夫が求められるため、十分な準備時間の確保にも配慮していきたい。

今回はプログラムの最終日が祝日と重なつたため、グループとしての活動がすべて終了した後にパーソナルデー、ホストファミリーデーを配置したこと、参加者が少々羽目を外す場面もあり、カウンセラーの指導不足を実感した。オリエンテーションの意義を再確認すると共に、今後は参加者・スタッフへの徹底した指導を心がけたい。



### <参加者の感想>

- ・日本アニメーションツアーで、アニメの制作過程を見ることができたのは素晴らしい

た。恵泉大学、小学校、また多摩のユースグループなどたくさんの学生たちと交流ができて楽しかった。

- ・中学校でブースを担当したり、コミュニティへ向けての文化発表をしたりすることで、自分も他の参加者の国についてたくさんのこと学んだ。
- ・ありがとうイベントがよかったです。最初のスピーチやあいさつがとても長かったけど、みんなが自分たちのパフォーマンスを喜んでくれて、心を動かされているところを見ることができた。
- ・最高のホストファミリーだった！特にホストシスターとともに仲良くなることができて、いつも冗談を言い合ったり、たくさんのこと話をしたりできた。あまり英語で話そうとはしてくれなかつたけど、それでも打ち解けることができた。
- ・ホストファミリーはとても賑やかでオープンな家族だった。自分を家族の一員として迎えてくれたし、歓迎してくれていることを実感することができた。どうやって感謝の気持ちを表現したらいいのかわからない！

## 2. 今回の成果と今後の課題

### (1) 成果

- ・これまでカウンセラーとして十分な経験があり、語学力、リーダーシップ共に優れたカウンセラーを確保できることでより安定したオペレーションが可能となり、参加者や地域の方々からの彼らへの信頼度も高かった。今後は新しいカウンセラーの教育にもより力を入れていきたい。
- ・より多くの国々からの優秀な若者の参加を目指して、色々な工夫・改善を行いながらリクルーティング活動を続けてきたが、今回その成果が表れ、過去最高の世界20ヶ国からの参加者が集まり、今まで以上に日本の地域の皆様と参加者同士に、世界の様々な文化に触れて貰うことができ、国の壁を乗り越えて繋がることの大切さを実感して貰えたと思う。

### (2) 課題

- ・過去のプログラムを経験しているカウンセラーにとっては、セッション間のブレイク廃止することに対してあまり評価は得られなかった。モティベーションを維持したまま新しいセッションを始められるという利点もあったが、長期間プログラムに同行するスタッフには休息が必要であるという意見もあり、今後はプログラム中にカウンセラーに交代制で休日と取らせるなどの工夫をしていきたい。
- ・各地で趣向を凝らした活動が企画され、限られた時間の中でより多くの体験や交流を組み込んでいただいているが、参加者からはスケジュールがタイトであるため体力的にハードであるという声が多かった。また地域活動や交流が充実していく一方

2018年

7月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 荒尾・大牟田	2 吹田	3 吹田	4 吹田	5 吹田	6 吹田	7 吹田
8 吹田	9 吹田	10 宇陀	11 宇陀	12 宇陀	13 宇陀	14 宇陀
15 宇陀	16 伊勢原	17 伊勢原	18 伊勢原	19 伊勢原	20 伊勢原	21 伊勢原
22 水戸	23 水戸	24 水戸	25 水戸	26 水戸	27 水戸	28 水戸
29 水戸	30 我孫子	31 我孫子	1 我孫子	2 我孫子	3 我孫子	4 我孫子
5 多摩	6 多摩	7 多摩	8 多摩	9 多摩	10 多摩	11 多摩